

ママのための絵本シリーズ ①

先輩ママの大後悔図鑑

働くママたちに告ぐ、
これを読めばきっと あなたも大丈夫



作 いしだ みき

ママのための絵本シリーズ ①

先輩ママの大後悔図鑑



作 いしだみき

気持ちを理解しようとする努力が足らなかった 後悔度 64%



だいぶ後になってからこの時に言いたかった事が何だったのかを聞くことができた。それによると「ふつうのかあさん」とはエプロン姿でいつも家において、手作りのおやつを出してくれるようなおかあさんのことで、「ふつうのかあさん」⇒「優秀な子ども」で、わが家のような「ふつうでないかあさん」⇒「人並みな子ども」という彼なりのセオリーを伝えたかったらしい… 男の子は特に語彙力が弱いのでわかってあげようとする努力が必要だ。

勉強しなさいと言いつぎた 後悔度 65%



「勉強しなさい」と言えば言う程、勉強嫌いになってしまう。ほめてやる気を育てることが大事だと気づいたが、時すでに遅くほめてやる気スイッチをONにすることができなかった。ほとんどの場合、子どもは部屋で一人で勉強などしない、リビングの家族のすぐそばで取り組ませるのがおすすめ、その際はテレビなどは消す配慮も…。

イベントをまとめて行っていた 後悔度 68%



冬にイベントが集中するわが家では、次男のたん生日を長男のたん生日と合同で行っていた。アニバーサリーをあまり重要視しない私的にはお祝いしているつもりだったのだが、後に次男からちゃんとたん生日を祝ってもらった記憶がないと言われた。

もっとよい面に目を向けるべきだった 後悔度 75%



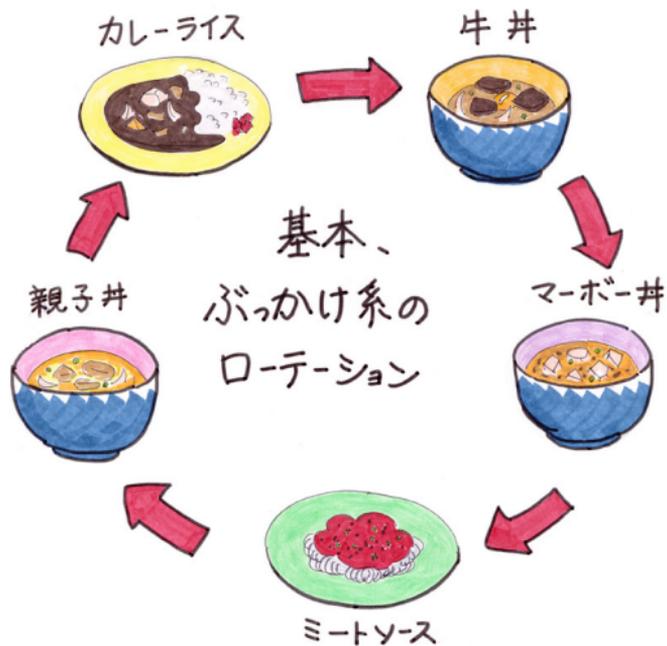
往々にして男の子は優しい一面があるがわが家の長男もそんなタイプの男の子だった。しかし当時の私は彼の長所である優しさを弱さと捉えていた節があり、ずいぶん厳しく接してしまっていた。

幸い彼はその美点を失うことなく大人へと成長してくれたが、親の理想や思いを子どもに押し付けると互いに良い結果にならない。

どんな子にもきつとすばらしい一面がある、そばで見守る親がいち早く見つけてあげたい。

ご飯を手抜きしすぎた

後悔度 80%



食育は最も重要な母親の仕事であるにもかかわらず関心が薄かった。
教育に関心が高いママたちは食事管理も徹底しているということを後に知り、自分の至らなさを痛感した。

もっと多くの時間を一緒に過ごせばよかった
後悔度 90%



子どもたちが少し大きくなるとこれからだんだん母親を必要としなくなるような気がして自ら少し距離を置き、子離れの準備をしていた。
今考えると子どもは自然と離れていくのだからそれまではできるだけ多くの時間を共に過ごすべきだった。

ためしよみ

は

ここまでです